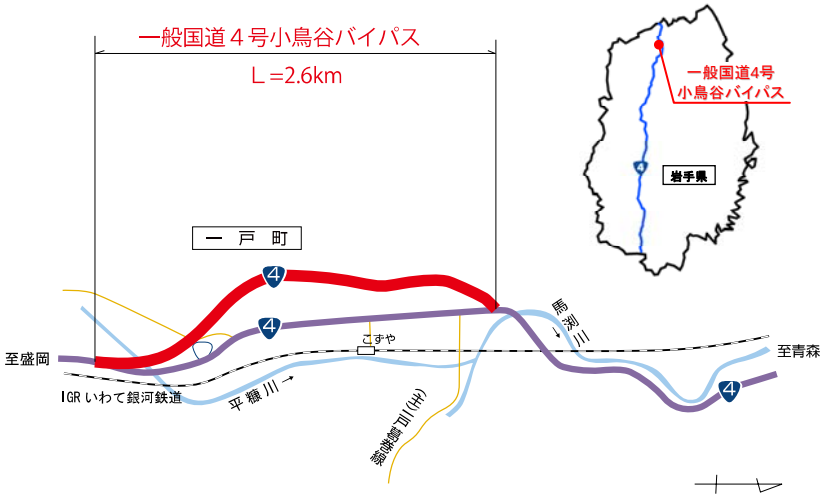
一般国道4号

小鳥谷ﾊﾞｲﾊﾟｽが開通して、旧国道の交通混雑が解消されました。

（平成20年3月15日開通）　**～車の減った旧国道を活用し、地元のお祭りが復活～**





▼小鳥谷バイパス整備前



▲旧国道は大型車の交通量が多く、学校に行く子ども達も不安でした。

○国道4号通過交通の約8割が小鳥谷バイパスに転換

国道4号　77百台／日 → 国道4号（旧国道）12百台／日　小鳥谷BP 66百台／日

○旧国道の騒音が大幅に低下

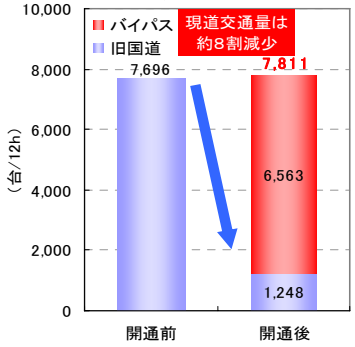
整備前　72db（夜間） → 整備後　47db（夜間）

・工事期間：平成16年度～平成19年度　・総事業費：約51億円
・延　　長：2.6km　・幅　　員：13.5m

旧国道の交通量の減少で安全快適な通学・通勤が実現

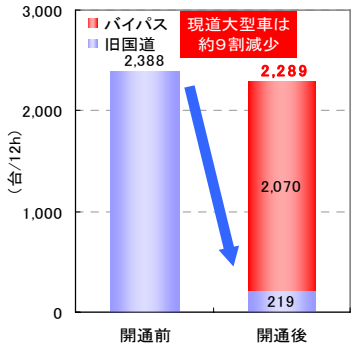
○交通量が約8割バイパスに転換

【交通量の変化】



○大型車は約9割バイパスに転換

【大型車交通量の変化】



※開通前：H19.6.19　開通後：H20.3.17


【小鳥谷BP開通後の旧国道】

・交通量がバイパスに転換したことで、児童の通学路となっている旧国道から大型車がいなくなり、安心して登下校できます。（一戸町立小鳥谷小学校 熊谷校長）

・以前、信号機がない横断歩道では、車の流れが途切れず道路を横断するのが大変でしたが、交通量が大幅に減って横断しやすくなり、登下校の安全性は高まりました。　（一戸町立小鳥谷中学校 佐藤校長）

・以前は通勤時間帯に渋滞が発生していたが、バイパスの開通により緩和されました。（一戸町在住男性）

旧国道を活用したお祭りが復活

○旧国道の交通量の増加に伴い、地元のお祭りは年々規模を縮小してきました。


【昭和40年台】

国道全体を使ってお祭りを盛大に開催

交通量の増加に伴い


【近年】

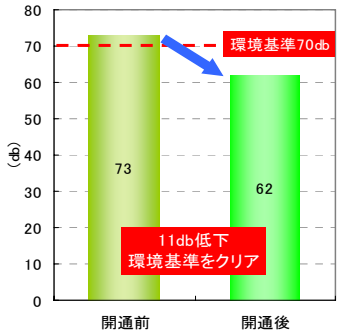
交通量の増加に伴い、隊列の横を通過する車両を気にしながらの開催

バイパスができる前までは交通量が多く、隊列を狭くして御輿行列をしていましたが、バイパスに交通量が転換したことで、旧国道の全面的な交通規制も可能と思うので、昔のように大勢で道路を歩きたいです。　（祭り事務局）

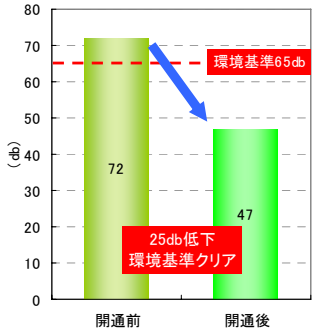
旧国道の交通量の減少で良好な沿道環境が実現

○交通量の転換に伴い、騒音レベルが低下し環境基準を達成

【昼間騒音の変化】



【夜間騒音の変化】



※開通前：H14.10.30　開通後：H20.3.19

▼一般的な騒音の感じ方





Topics　いわて子どもの森

いわて子どもの森は平成15年にオープンした県立児童館で、平成20年度はリニューアルもあり、平成20年5月の入館者数が前年同月比12%増となりました。

小鳥谷バイパスの開通で、一戸町や二戸市、青森県からのアクセス性が向上したことから、今後ますますの増加を期待しています。

▼いわて子どもの森入館者数



※いわて子どもの森調べ

「いわて子どもの森」や「奥中山高原温泉」は月1回程度利用しています。国道沿いに住居が立ち並んでいた以前のルートを通るよりも、運転が楽になりました。

（一戸町在住男性）